

二十周年記念誌

あゆみ

社会福祉法人 桜風会

介護老人福祉施設

あいあい桜が丘

目　　次

CONTENTS

理事長あいさつ…… 2
副理事長あいさつ…… 3
顧問あいさつ…… 4
施設長あいさつ…… 5
事務長あいさつ…… 6
府中市市長・議長あいさつ…… 7
グループ事務長あいさつ…… 8
20 周年事業…… 9
　記念式典・20 周年記念感謝祭…… 10
　タイムカプセルの開封･埋設…… 12
施設の概要・活動…… 13
　施設運営理念･方針･施設の概要…… 14
　全館配置図…… 15
　設備等の概要…… 16
　　施設館内・デイサービス
　　本館、別館・新規導入した設備
　　関連施設（保育園・社宅）
　施設の活動…… 19
　　全体行事
　　特養入居・ショートステイの行事
　　デイサービスの行事
　受贈･交流事業…… 22
　広報活動…… 23
　会議･委員会活動…… 24
　職員研修・一般向けの研修・グループ連携…… 25
　職員の親睦事業…… 26
5 年間のあゆみ…… 27
　開設 16 年目～ 20 年目…… 28
資料編 …… 33
　歴代役員一覧・嘱託医師・協力医療機関…… 34
　職員名簿（令和 7 年度）…… 35
　過去の記念式典･記念行事等…… 36
編集後記 …… 37

「あいあい」二十年の歩み

― 地域に根ざし、未来を拓く ―



社会福祉法人　桜風会
理事長 門田 悦治

このたび、社会福祉法人桜風会「あいあい桜が丘」は、開設 20 周年という大きな節目を迎えることができました。

これもひとえに、長年にわたり当施設をご利用くださっている皆様、ご家族の皆様、地域の皆様、そして関係機関の皆様からの温かいご理解と多大なるご支援の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。あわせて、日々利用者様に寄り添い、法人の理念を体現しながら誠実に歩みを重ねてきた職員一人ひとりに、深い敬意と感謝を表します。

顧みますと、この 20 年間、私たちは「高齢者の皆様が人生の大切な時間を豊かに、そして尊厳をもって過ごしていただける場」でありたいとの一心で歩んでまいりました。お一人おひとりが歩んでこられた人生の歴史に敬意を払い、かけがえのない日々の営みを支えること。「あいあいで過ごせて良かった」というお言葉を糧に、私たちは努力を積み重ねてきた次第です。

その歩みは、決して平坦な道ばかりではありませんでした。介護保険制度の改正、深刻な人材不足、さらには未知の感染症という未曾有の困難にも直面いたしました。しかし、いかなる試練の中にあっても、私たちを支え続けてくれたのは、強い使命感を持って現場に立ち続けた職員の存在です。

私は、職員が安心して働ける環境こそが、質の高いケアの源泉であると考えております。これまで社宅や施設内保育園の整備に取り組んでまいりましたが、今後も、職員がこの仕事に誇りとやりがいを持ち、笑顔で働き続けられる職場づくりに、より一層力を注いでまいる所存です。

これから先、超高齢社会はさらに加速し、介護を取り巻く環境は激変していくことが予想されます。しかし、どれほど時代が移り変わろうとも、人が人を想い、支え合うという福祉の本質は不変です。「あいあい」の名に込めた「愛」と「出逢い」の精神を次なる 20 年へとつなぎ、さらなる高みを目指してまいります。

また、当法人が 20 年にわたり揺るぎない安心を提供し続けてこられましたのは、グループ法人である「医療法人社団晃弥会 介護老人保健施設あいあい三郎丸」および「株式会社備後会 サービス付き高齢者向け住宅 府中駅西」との強固な連携があってこそであります。今後もこのグループの総合力を活かし、地域に根ざした福祉の担い手として、皆様の信頼にお応えできるよう精進してまいります。

結びに、これまでの皆様のご厚情に改めて感謝申し上げますとともに、社会福祉法人桜風会「あいあい桜が丘」の新たな一歩に、変わらぬご支援を賜りますよう伏してお願い申し上げ、開設 20周年の挨拶とさせていただきます。

開設二十周年を迎えて

― 現場の想いをつなぎ、次なる未来へ ―



社会福祉法人　桜風会
副理事長 門田 奈緒子

社会福祉法人桜風会あいあい桜が丘は、このたび開設二十周年という大きな節目を迎えることができました。今日まで歩みを進めてこられましたのは、利用者様、ご家族の皆様、そして地域の皆様の温かいご支援の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

私は看護師としてのキャリアを経て副理事長に就任し、早いもので六年が経過いたしました。就任当初は、経営や運営に関する知識も乏しく、ただ「現場のために何ができるか」を問い続ける日々でした。病棟勤務時代、私は命の最前線で感染症対策や医療従事者としての接遇を厳しく叩き込まれてまいりました。その経験は、今の施設運営において私の大きな指針となっています。

特に近年の感染症対応においては、医学的知識が判断の確かな後ろ盾となりました。刻一刻と状況が変わる中、現場の職員は誰一人として足をとめることなく協力し合い、利用者様の安全を守るために今なお懸命に努めています。その姿は私の誇りです。私は常に職員へ「利用者様は数ある施設の中から、私たちを信じて選んでくださったのだ」と伝えてきました。人生の大先輩に対する敬意を忘れず、尊厳を守る関わりを貫くこと。それが看護師として、また運営を担う者としての私の信念です。

一方で、副理事長としての歩みは「視点の変化」を学ぶ日々でもありました。当初は「現場の立場に立ちすぎている」とご指導をいただくこともありましたが、理事長をはじめ多くの方々に支えられ、組織全体を俯瞰し、五年後、十年後を見据えた「長い目」で判断する重要性を痛感いたしました。現場の熱量と経営的視点、この両輪のバランスを保つことこそが、私の使命であると確信しております。

これからの展望として、私が最も注力したいのは「職員が誇りを持って働ける職場づくり」です。職員が笑顔でなければ、質の高いケアは生まれません。今後は ICT の導入をさらに加速させ、AI 技術も積極的に活用することで、生産性の向上を追求してまいります。テクノロジーで事務負担を軽減し、その分、職員が利用者様と心を通わせる時間を創出していく。それが私の描く、次なる時代の温かな介護の姿です。

二十年という月日は、未来への通過点に過ぎません。これからも看護師としての「初心」を忘れず、皆様と共に新たな歴史を刻んでまいりたいと思います。今後とも、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

あいあい桜が丘 20 周年に寄せて

― 医療と介護の連携がつなぐ未来 ―



社会福祉法人　桜風会
顧問・医師 門田 一晃

あいあい桜が丘が開設 20 周年という佳節を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。ここまでの歩みを支えてくださった地域の皆様、そして日々献身的に力を尽くしてくださっているスタッフの皆様に、深く感謝申し上げます。あわせて、この場所を築き、育んできた理事長である父に、この場をお借りして敬意を表したいと思います。

思い返せば、施設が開設された頃、私はちょうど研修医として医師人生の第一歩を踏み出した時期でした。毎日が新鮮で、時に壁にぶつかりながらも懸命に学んでいたその頃、父は地域の方々の暮らしを支える新たな場として、この施設を立ち上げました。当時の私はその姿を遠くから見ているだけでしたが、20 年という歳月を経た今、改めてその決断の重みと、積み重ねられてきた歩みの尊さを感じています。

医師として経験を重ねる中で、私には常にひとつの思いがありました。病院では最善を尽くして治療を行っても、その後の生活そのものを支えることには限界があります。患者さんを見送るたびに、「退院後も穏やかな日々を過ごしていただきたい」と願いながらも、その先を支えきれないもどかしさを感じてきました。

昨年より顧問という立場で施設運営に関わるようになり、その願いを現実のかたちで受け止めている場がここにあることを、深く実感しています。現場では、スタッフの皆さんがご入居者様お一人おひとりの人生に寄り添い、日々丁寧に支えておられます。それは病院での「治す医療」とは異なる、暮らしを支えるためのかけがえのない実践であり、地域にとって極めて大切な役割だと感じています。

これからの時代、医療ニーズの複雑化や介護を取り巻く環境の変化に伴い、施設にはより持続可能で安定した運営基盤が求められます。私自身、医療の視点に加え、組織運営や経営についても学びを深めております。その知見を現場に還元し、医学的視点と経営的視点の両面から支えることで、スタッフの皆さんがより安心してケアに専念できる環境を整え、ご入居者様とご家族に一層の安心を届けていくことが、私の果たすべき役割だと考えています。

20 周年という節目は、これまでを振り返ると同時に、次の時代への新たな出発点でもあります。これまで育まれてきた温かな理念を大切に受け継ぎながら、新しい時代にふさわしい医療と介護の連携のかたちを築いてまいります。これからの 20 年も、あいあい桜が丘が地域に愛され、安心と温もりを届け続ける場所であるよう、皆様とともに歩んでまいります。

二十年の歩みを礎に、感謝と決意

― 信頼を受け継ぎさらなる挑戦と進化へ ―



社会福祉法人　桜風会
施設長 廣元 耀仁

このたび、当施設は開設 20 周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、ご利用者、ご家族、地域の皆様、関係機関の皆様の温かいご支援とご厚情の賜物であり、心より深く感謝申しあげます。 また、長年にわたり当施設の歩みを支え、ご利用者の安心と尊厳ある暮らしを守り続けてきた職員一人ひとりの献身と誠実な実践に対し、あらためて深く敬意を表します。

私は昨年 4 月に施設長に就任いたしました。 20 年の歳月の中で、諸先輩方と職員の皆さんが築き上げてこられた信頼と実績、その確かな基盤の上に立つことの重みを、日々身の引き締まる思いで受け止めています。 その歴史と志を継承し、さらに発展へと導いていくことこそ、今を預かる者としての責務であると深く認識しております。

就任以来、私が強く実感しているのは、諸物価及び人件費の高騰に加え、介護業界全体に横たわる深刻な人材不足という厳しい現実です。介護報酬が十分に手当てされているとは言い難い状況の中にあっても、必要な加算の取得に努めるとともに、日々の支出の見直しや小さな改善を積み重ね、持続可能な施設運営の実現を目指してまいりました。 人材確保の面でも、求人媒体の活用や外国人材の採用を積極的に進める一方、定着につながる環境整備と組織づくりに力を注いでおります。

加えて、令和６年度介護報酬改定では、生産性向上が重要なテーマとなりました。 限られた人材の中で質の高い介護を持続するためには、間接業務を効率化し、職員が本来のケアに専念できる体制づくりが急務です。 こころを繋ぐ介護の本質を大切にしながら、この課題にも引き続き果敢に取り組んでまいります。

そして、社会福祉法人として忘れてはならないのは、地域社会に対して果たすべき使命です。地域に根ざす存在として、地域福祉の増進にいかに寄与していくか、その存立意義は今後ますます問われてまいります。 だからこそ、施設運営の安定のみならず、地域への貢献の在り方についても、より一層深化させていかなければなりません。

人口減少が進む地域の現実に向き合う今、従来の延長に安住することなく、未来を見据えた確かな経営戦略のもと、挑戦と進化を続けていくことが必要であると考えています。 20 年の歩みに対する深い感謝を胸に、その歴史を力へと変えながら、これからも皆様に信頼され、地域に必要とされる施設であり続けられるよう、職員一同、心を一つにして歩みを進めてまいります。

開設20周年の感謝とこれからの歩み

支え合いの20年と、
未来へつなぐ安心のかたち



社会福祉法人　桜風会
事務長 児玉 知加子

このたび、社会福祉法人桜風会「あいあい桜が丘」は開設20周年という節目を迎えることができました。日頃より当施設をご利用いただいている皆様、ご家族の皆様、地域の皆様、そして関係機関の皆様の温かいご支援に、心より御礼申し上げます。

私が入職いたしましたのは2009年8月、看護職員としてでした。病院勤務しか経験のなかった私にとって、介護施設での看護師の役割は未知の部分も多く、戸惑いの連続であったことを覚えております。多職種の職員と意見を交わしながら、「利用者様にとって何が一番大切か」を問い続け、自分なりの答えを見つけていった日々でした。

当時は育児休暇の取得実績がなく、10 か月の子どもを育てながら働く私は、仕事と家庭の両立に大きな不安を抱えていました。職員アンケート で施設内保育所の設置を要望し続けたところ、その想いが実を結び、保育所が開設された際には大きな喜びを感じました。私自身は利用の機会に恵まれませんでしたが、後に続く職員の皆さんが安心して子育てと仕事を両立できる環境が整ったことは、非常に意義深いことだと感じております。

また、この20年の歩みの中では、感染症対応など、これまでに経験のない困難にも直面しました。感染症対策の強化を図り、それぞれの職種が持つ力を発揮しながら前進してこられたのは、現場の職員一人ひとりが利用者様に寄り添い、支え続けてきた結果であり、深い敬意と感謝の念を抱いております。

そしてこのたび、私は2026年2 月に事務長を拝命いたしました。これまで現場で学んだ経験を大切にしながら、職員 人ひとりの声に丁寧に耳を傾け、安心して働き続けられる環境づくりに努めてまいります。介護を取り巻く環境は今後さらに厳しさを増すことが予想されますが、現場と経営をつなぐ架け橋として、ICTやAIを活用し、生産性を高めながら質の高いケアを追求し、地域の皆様に愛される施設であり続けられるよう尽力してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ、開設20周年のご挨拶とさせていただきます。

祝　辞



府中市長

小野 申人

社会福祉法人桜風会あいあい桜が丘の開設 20 周年を心からお慶び申し上げます。

あいあい桜が丘では、福祉を取り巻く環境が大きく変化する中、迅速かつ的確に時代の要請に応え、高齢者福祉向上に向けて献身的に取り組んでおられます。

これもひとえに理事長をはじめ役員・職員の皆様のご努力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

現在、府中市では介護が必要となる方が増加する 85 歳以上の人口が 2040 年頃まで増加すると見込まれております。

このような状況下で、あいあい桜が丘の果たす役割はますます重要になり、「お客様と職員と地域のため」という運営理念のもと、働き甲斐のある職場環境の整備や地域社会への貢献に積極的に取り組まれていることに深く敬意を表します。

本市といたしましても、地域福祉の充実に向けて、共に力を尽くしてまいりたいと考えております。

これまでの 20 年間の実績を踏まえ、さらなる進展を遂げられ、本市の高齢者福祉を推進する拠点として大いにご活躍いただけることを心から期待しております。

結びに、社会福祉法人桜風会あいあい桜が丘のますますのご発展と、関係の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝　辞



府中市議会議長

本谷 宏行

貴施設が開設 20 周年を迎えられたことに、心よりお祝い申し上げます。

また、地域の高齢者福祉に長年にわたりご尽力いただいていることに対し、深い感謝と敬意を表します。

20 年もの長きにわたり、地域に根差した介護老人福祉施設として、介護を必要とする方々やそのご家族に寄り添い、住み慣れた地域で安心して快適な暮らしを提供してこられたことに、心から敬意を表します。高齢化が進む中、貴施設が担ってこられた役割はますます重要性を増しております。利用者一人ひとりの生活の維持・向上に努められ、利用者やそのご家族の安心や笑顔を支えるためのその懸命な努力が多くの方々に希望を与えてきたことと存じます。

貴施設が築いてきたこの 20 年間の歩みは、働くスタッフの皆様や地域の皆様の協力と支援の賜物です。この節目を迎えられたことを誇りとし、新たな未来へのさらなる飛躍を心より期待しております。

結びに際し、貴施設のさらなるご発展と、利用者の皆様の健やかな生活を心よりお祈り申し上げます。本誌が多くの方々に長く愛され、20 年の歴史を伝える記念誌として素晴らしい役割を果たすことを願っております。

共にあゆみ、共に支え合いながら、未来へつなぐ 20 年のあゆみを祝して



医療法人社団　晃弥会
事務長 倉田 真里子

あいあい桜が丘開設二十周年の節目を迎えられましたこと、あいあい三郎丸を代表し、心よりお祝い申し上げます。私自身、十五年前にあいあい三郎丸の相談員として入職して以来、グループの一員として歩む中で、貴施設が地域に根差し、ご利用者とご家族に寄り添いながら、安心と温もりある暮らしを支えてこられた姿に多くの学びと励ましをいただいてまいりました。二十年にわたる歩みは、理事長をはじめ歴代施設長ならびに職員の皆様の日々の尽力、そして地域や関係機関の皆様のご支援の賜物と心より敬意を表します。私たちあいあいグループ 3 施設は互いに切磋琢磨し、良い意味で刺激を受け合いながらも、協力し支え合う関係を常に意識しております。今後もその絆を大切に、ともに成長し続けられることを願い、さらなるご発展を心より祈念申し上げます。

開設 20 周年を迎えられて



株式会社 備後会
事務長 池庄司 敬和

開設 20 周年、誠におめでとうございます。衷心よりお祝い申し上げます。

私は現在「あいあい府中駅西」に籍を置いておりますが、「あいあい桜が丘」にも 7 年弱の間、事務長としてお世話になりました。

私が「あいあい桜が丘」に勤め始めた頃には、すでに開設後 10 年以上が経過しており、運営も軌道に乗り、地元においても介護施設「あいあい」としての信頼を確立されておりました。

そのような中、私が在籍していた令和 2 年初めから全国で新型コロナウイルス感染症が拡大し、同年 12 月には「あいあい桜が丘」でも初めての陽性者が確認されました。しかし、理事長以下、全職員が保健所の指導のもと、これ以上感染を広げずご利用者を守るという使命感を持って懸命に対応した結果、大きな被害を防ぐことができました。あの時のことは、今も昨日のことのように思い出されます。

これまでの地域へのご貢献に深く敬意を表すとともに、今後も地元に愛される介護施設として、30 年、40 年と末永く発展されますことを、グループ職員の一人として、また地元住民として、心よりご祈念申し上げます。

20周年事業

２０周年

記念式典





あいあい桜が丘 開設 20 周年記念感謝祭

～２０年分の「ありがとう」そして未来へ～





キッチンカー・マルシェ







記念行事




開設20周年記念あいあい

イベント


笑顔満開
この町に
笑顔の輪
二十年分の
「ありがとう」
そして未来へ
府中高校書道部
人生は
何気ない日々
愛そう


開設20周年記念


桜糸
さくらもち






20年分の「ありがとう」そして未来へ

20周年記念行事

タイムカプセルの掘り起こし＆埋設







入居者・利用者のご利用 20 年・10 年表彰



施設の概要・活動

施設運営理念・方針

平成 30 年 7 月改定

施設運営理念（存立目的）…お客様と職員と地域のために

1.質の高い介護サービスで、お客様の快適な生活を支援する。
2.職員にとって働き甲斐のある職場をつくる。
3.あいあいグループが連携し、地域に貢献する。

職員の行動指針（目的達成手段）…自らへのメッセージ（伝言）

1.笑顔と思いやりを大切にします。
2.お客様に信頼されるサービスを提供します。
3.お客様と共に、生き甲斐作りに努めます。
4.報告・連絡・相談を実践します。
5.あいあいグループの連携と地域との交流を大切にします。

施設の概要

設置法人名

社会福祉法人 桜風会（平成16年10月5日設立）

事業開設及び事業内容

【平成18年3月1日開設】
介護老人福祉施設 あいあい桜が丘（定員50名、全室個室）
ショートステイ あいあい桜が丘（定員10名、全室個室）
デイサービス あいあい桜が丘（定員75名）
居宅介護支援事業所 あいあい桜が丘
【平成25年4月1日開設】
地域密着型特別養護老人ホーム あいあい桜が丘（定員29名、全室個室）
ショートステイ あいあい桜が丘 別館（定員11名、全室個室）

所在地

〒726-0006
広島県府中市桜が丘三丁目2番地1

電話番号

0847-41-5000（代表）
0847-41-5222（デイサービス直通）

FAX 番号

0847-41-6500

E-Mail

ohfukai@aiai-fukushi.net

QR コード

ホームページ　インスタグラム

施設の規模

区分	介護老人福祉施設（本館）	地域密着型特別養護老人ホーム（別館）
建物の構造	鉄筋コンクリート造陸屋根亜鉛メッキ鋼板ぶき4階建て	鉄筋コンクリート造陸屋根亜鉛メッキ鋼板ぶき2階建て
延床面積	5,037.23㎡	1,772.40㎡
敷地面積	12,892.76㎡	
駐車場	126台（内屋根付14台）	

グループ施設

医療法人社団 晃弥会
介護老人保健施設 あいあい三郎丸
〒726-0026 広島県府中市三郎丸町137番地
TEL:0847-40-1010　FAX:0847-40-1550

株式会社 備後会 ケアホームあいあい府中駅西
〒726-0005 広島県府中市府中町102-1
TEL:0847-45-1600　FAX:0847-45-2121

全館配置図

2階

入所・ショート







1階

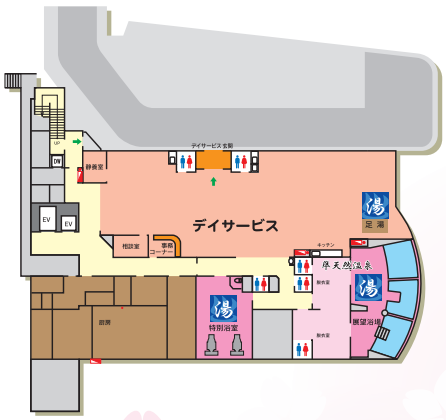
入所





B1

デイ





施設等の概要

施設館内



玄関


ナースステーション（本館）


ウッドデッキ（本館）


事務所

デイサービス


準天然温泉展望大浴場

準天然温泉 桜の湯

新潟県栃尾又温泉付近から産出された
風化鉱物（トゴールライト）を使用。
天然温泉に近い泉質を持つ入浴設備。

【効果・効能】
神経痛・腰痛・リウマチ・打ち身・疲労回復
しもやけ・荒れ性・肩こり・冷え性・痔・あせも


足湯


デイフロア

本館

利用定員　特別養護老人ホーム　50 人
　　ショートステイ　10 人



居室

別館

利用定員　地域密着型特別養護老人ホーム 29 人
　　ショートステイあいあい別館　11 人

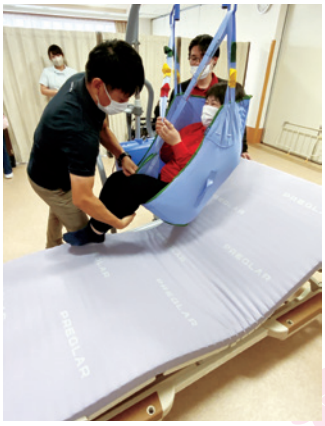


居間

新規導入した設備



温冷配膳車



移乗用リフト



ミストシャワー浴



別館ごみ搬出用リフト



個浴リフト

関連施設

あいあい保育園桜が丘









パークヒルあいあい（社宅）



A～C棟



D棟（寄宿舎）







内装（A～C棟）

施設の活動 全体行事

敬老会



感謝祭





可愛い園児がお祝いをしてくれます。

夏祭り





地域の方も大勢来られ、大変盛り上がります。



ひも引きゲーム

クリスマス会



あいあい喫茶





毎月 11（あいあい）日に開催中。

施設の活動 入居・ショートの行事

新年会





生花教室

お誕生日会





レクリエーション

流しそうめん



外出行事









おやつ作り



椅子の修理もお手の物

日常



節分

施設の活動 デイサービスの行事

新年会







おやつ作り



理学療法士による講座



全国湯めぐり味めぐり



機能訓練







秋祭り





折り紙

書道



受贈　開設 16 年目～ 20 年目までの受贈品



公益社団法人 24 時間テレビチャリティー委員会



福祉車両



公益財団法人合人社財団



個人寄贈

交流行事（地域との交流・学生受入れ）



家族会



清掃活動



インターンシップの受入れ



キャリア体験の受入れ

広報活動

インスタグラムの開設







インスタグラムは
こちらから

FUKUSHI_AIAI

ホームページのリニューアル



パンフレットのリニューアル







あいあい新聞（毎月第４土曜日発行）



施設だより（年１回発行）

会議・委員会活動

通常委員会（令和２年度）
主任会議・主任研修会
行事・レク委員会
安全衛生委員会
感染防止委員会
安全対策委員会
身体拘束廃止委員会
事故防止対策委員会
苦情対策・苦情解決委員会
褥瘡対策委員会
排泄委員会
給食委員会
ケアプラン委員会
研修委員会
利用促進会議
職員親睦委員会
看護委員会
ユニット会議
デイ会議

通常委員会（令和７年度現在）
主任会議・主任研修会
生産性向上委員会
行事・レク委員会
安全衛生委員会
安全委員会・感染防止委員会
事故防止対策委員会
研修委員会
苦情解決対策委員会
褥瘡・排泄対策委員会
給食委員会
ケアプラン・身体拘束適正化検討委員会
利用促進会議
職員親睦委員会
LIFE 委員会
安全対策（虐待防止）検討委員会
看護委員会
ユニット会議
デイ会議

特別委員会（令和２年度）
経営会議
幹部会議
感謝祭実行委員会
夏祭り実行委員会
ユニット介護研修運営委員会
福祉祭り実行委員会
創業 15 周年記念事業実行委員会

特別委員会（令和７年度現在）
経営会議
合同幹部会議
大行事実行委員会
夏祭り実行委員会
20 周年記念事業委員会



主任会議

職員研修及び研修事業





実務者研修





新入職員研修



外部講師研修



内部研修

グループ連携





新入職員合同入社式



合同幹部会議



利用促進会議

親睦活動

新入職員歓迎会







新入職員の挨拶

忘年会



職員旅行











夏祭り打ち上げ





５年間のあゆみ

開設 16 年目 2021 年度／令和 3 年度

月	出来事
4 月	ホームページリニューアル
5 月	外部手すりの改修工事
6 月	入居者・職員コロナワクチン接種
7 月	東京 2020 オリンピック競技大会
	イージーウォークの購入
8 月	夏祭り中止
	デイサービス 第 1 回仙台七夕祭り
9 月	敬老会（ユニットごと）
	チルト＆リクライニング車椅子購入
	外国人用宿舎建築用地の購入
10 月	リクライニングソファーの購入
11 月	給食業務の受託業者交代 桑木給食㈱へ
12 月	外国人用宿舎の建設着手
	デイ展望浴場、ろ過ポンプ取り換え
2 月	衣類乾燥機の購入





コロナワクチン接種





ホームページリニューアル





第 1 回 仙台七夕祭り

開設 17 年目 2022 年度／令和 4 年度

月	出来事
4 月	外国人用宿舎（D 棟）の完成
	全館統一 Wi-Fi 工事
	インスタグラムの開設
6 月	厨房機器の修理
7 月	特定技能インドネシア 5 名の受入れ
8 月	眠りスキャン、エアマットの購入
	第 17 回夏祭り（入居者のみでの開催）
10 月	煙感知器取り換え
12 月	ND ソフトウェアの介護支援ソフト「ほのぼの NEXT」導入
	クリスマス会中止
2 月	温冷配膳車の導入
	別館ごみ搬出用リフトの設置
	デイサービス定員 85 名へ変更
3 月	法面改修に伴うフェンス取り付け工事



インスタグラムの開設




特定技能の受入れ


温冷配膳車の導入




寄宿舎（D 棟）の完成

開設 18 年目 2023 年度／令和 5 年度

月	出来事
4 月	ウッドデッキの改修工事
5 月	特定技能インドネシア 5 名の受入れ
	新型コロナウイルス感染症「5 類」へ引き下げ
6 月	焼き芋機購入
8 月	第 18 回夏祭り（通常開催）
	府中市キャリア体験学習の受入れ
10 月	移動式リフトの購入
11 月	別館入浴用リフトの購入
2 月	デイサービス定員 75 名へ変更



ウッドデッキの改修


居室面会の再開


焼き芋機

夏祭り






4 年ぶりの通常開催

開設 19 年目 2024 年度／令和 6 年度

月	出来事
5 月	府中市市制 70 周年感謝祭
7 月	日本銀行 新紙幣を発行
8 月	府中市キャリア体験学習の受入れ(2名)
	臨床評価実習の受入れ(福山医療専門学校1名)
10 月	府中市多様な人材活躍実践企業認定
	広島県動物愛護活動
	パンフレットのリニューアル
11 月	特定技能インドネシア 3 名の受入れ
12 月	広島県老人福祉施設連盟写真コラムコンクール前期ユニーク賞を受賞
1 月	ミストシャワー浴新設
2 月	キャリア体験学習に係わる生徒提案のゲーム体験
3 月	広島県老人福祉施設連盟写真コラムコンクール後期ユニーク賞、年間賞を受賞

コラムコンクール



ユニーク賞＆年間賞「男だって料理上手！」



ユニーク賞「ガブりっ！！」



パンフレットのリニューアル



レクリエーション（デイ）【さかな釣りゲーム】
キャリア体験に来られた府中学園生徒が
考案したゲームを楽しまれました



府中市多様な人材活躍実践企業認定



動物愛護活動

開設 20 年目 2025 年度／令和 7 年度

月	出来事
4 月	大阪・関西万博開催
8 月	インターンシップ受入れ(府中東高校 1 名)
	キャリア体験学習の受入れ(府中学園 1 名)
9 月	臨床体験実習の受入れ（1 名）
10 月	安全運転講習
	松尾貴臣様のホスピタルライブ
12 月	別館ミストシャワー浴・移乗用リフトの増設
1 月	広島県老人福祉施設連盟写真コラムコンクール 前期ユニーク賞＆メッセージ賞 受賞
3 月	タイムカプセル掘り起こし
	広島県老人福祉施設連盟写真コラム コンクール年間賞を受賞



タイムカプセル掘り起こし

コラムコンクール



メッセージ賞「いつまでも新婚気分♡」



ユニーク賞「鬼も内！」



キャリア体験



ホスピタルライブ

資料編

歴代役員一覧

現在の役員

（令和８年４月１日現在）

		〈就任年月〉	
理事長	門田　悦治	平成16年10月	
業務執行理事・副理事長	門田　奈緒子	令和２年７月	令和元年６月～令和２年７月（理事）
理事・施設長	廣元　耀仁	令和７年６月	
理事	北川　祐治	平成16年10月	
理事	唐川　浩成	平成21年10月	平成16年10月～平成21年10月（評議員）
理事	内田　貴久	令和３年６月	
理事	内田　雅敏	令和５年６月	
監事	石原　広一	平成16年10月	
監事	溝口　基義	令和５年６月	平成22年10月～令和５年６月（評議員）
評議員	石岡　勝朗	平成29年４月	
評議員	對馬　陸奥男	平成16年10月	
評議員	土井　啓嗣	平成22年３月	
評議員	宮口　英昭	平成29年４月	
評議員	髙橋　良昌	令和３年６月	
評議員	道下　幸治	令和３年６月	
評議員	星野　貴志	令和３年６月	
評議員	真邉　崇正	令和５年６月	

退任者

（令和３年１月１日～令和８年３月31日）

理事・施設長	長岡　圭吾	平成26年10月～令和７年６月
理事	清水　正視	平成20年10月～令和５年６月
理事	岡崎　浩二	平成22年３月～令和３年６月
監事	宮脇　幸光	平成20年10月～令和５年６月
評議員	千田　清	平成16年10月～令和３年６月
評議員	楢崎　満顕	平成21年10月～令和３年６月
評議員	前原　専二	平成22年10月～令和３年６月

嘱託医師・協力医療機関

（令和８年４月１日現在）

嘱託医師	有地　茂生（有地医院院長）
	医師　門田　一晃
協力医療機関	独立行政法人府中市病院機構　府中市民病院
	社会医療法人社団　陽正会　寺岡記念病院
協力歯科医院	しげはら歯科クリニック

職員名簿

（令和８年４月１日現在）

本部・事務所

施設長	廣元　耀仁			
事務長	児玉　知加子			
介護職長	矢田　千香子			
居宅介護支援専門員	◎宮口　邦彦	光成　英代	川上　理沙	尾川　晶恵
	高木　嘉子			
生活相談員（入居）	○雫石　真弓	池之上　浩樹		
生活相談員（デイ）	岸本　実規	斉藤　武志		
管理栄養士	今井　理緒	佐藤　彩乃		
事務職員	下川　香織	和田　理恵	山田　剛司	

看護職員・機能訓練指導員・理学療法士

看護職員	○小林　佳澄	井上　弘美	小野　舞香	芝内　暁子
機能訓練指導員	黒川　政美	光成　信江	戸田　和子	
理学療法士	繁桝　明	福岡　佑季		

介護職員

本館入居（中町）	◎清水　詩子	○寺岡　和晃		
	小田　明弘	上西　桜子	妹尾　祐哉	小田　えり子
	竹中　桃子	チャルワティ	マグフィラデスアウリア	
本館入居（南町）	◎佐々木　幸子	○馬屋原　翔		
	藤山　大伸	田中　洸司	小林　香織	岡崎　さとみ
	向　裕子	アデッリアセプティアニ	サラーマハラニ	ティラアギスワリ
本館入居（北町）	◎野田　幸次	○橘和　奈穂美		
	松尾　俊明	小早川　未来	藤原　夏音	広中　美穂子
	河村　薫子	小野　スミ子	ムティアライングダセティアワティ	
別館入居（本町）	◎藤本　麻子	○谷満　陸		
	小林　哲也	三宅　輝彦	唐川　真実	上野　ひとみ
	内田　絹恵	永久　法子	ルシユニアルティ	ヘクサヌルジャナミッレニアハラハブ
別館入居（西町）	◎田中　実咲希	○松本　久美子		
	桑原　英生	柳田　祥希	前場　弘子	中山　沙希
	高橋　梨紗	ディニイスワティ	プトリスプリアティン	
環境整備	名越　恵美子	宮口　節之	作田　芳子	鈴木　信夫
	早川　秀樹			
デイサービス	○石橋　京香	○山本　夕紀		
	廣川　恵美	田中　里枝	山岡　杏	前場　春乃
	高橋　郁治	秀高　英一	小森　早苗	森川　幸吉
	伊藤　くみ	吉川　由紀子	梅本　利江	佐々木　幸代
	海原　泰彦	笹川　秀幸	石田　勝彦	高橋　朋子

注）◎は主任、○は副主任

過去の記念式典・記念行事等

5周年記念



記念式典



記念植樹

10周年記念



タイムカプセル埋設



祝賀会

15周年記念



勤続 10 年表彰



タイムカプセル掘起こし

編集後記

おかげをもちまして、開設 20 周年を迎えることができました。一つの歴史の節目として、この度、20 周年記念誌を発行することになりました。

編集では、20 周年事業として実施した式典や感謝祭を中心に開設 15 年から 20 年の歴史を皆様に分かりやすくお伝えできるように作成しました。

本誌の制作にあたり、これまでの 20 年間を振り返る中で、施設に関わってくださった多くの方々の歩みと温かな思いを改めて感じました。ご利用者さま一人ひとりの笑顔、職員の真摯な姿勢、ご家族の支え、地域の皆さまのご協力があってこそ、今日の私たちがあります。これからも私たちは、「その人らしさ」を大切にしながら、安心して過ごせる場所づくりに努めてまいります。

ささやかな本書が、皆様の目にとまり、皆様にとって懐かしく温かい記憶を呼び起こす一冊となれば幸いです。

編集委員一同

社会福祉法人 桜風会
介護老人福祉施設 あいあい桜が丘
20周年記念誌

発 行 日　令和８年４月23日
編　　集　20周年記念事業委員会
発　　行　社会福祉法人 桜風会
広島県府中市桜が丘3-2-1
電話：(0847) 41-5000
印　　刷　ベッセルプリンティング

社会福祉法人 桜風会

介護老人福祉施設 あいあい桜が丘

〒726-0006 広島県府中市桜が丘三丁目2番地の1
TEL 0847-41-5000　FAX 0847-41-6500
https://www.aiai-fukushi.net/sakura/